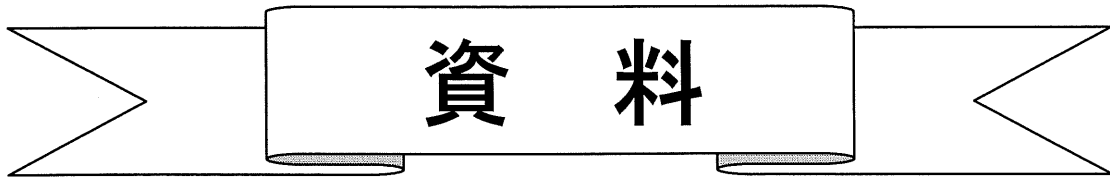


平成18年度第2回広島県道徳教育推進連絡会議

豊かな心を育てる道徳教育の推進 庄原市の取組みについて



- 資料1 豊かな心を育てる道徳教育 ～庄原市の道徳教育～
- 資料2 平成18年度第1回庄原市道徳教育推進委員会研修会
- 資料3 平成18年度第2回庄原市道徳教育推進委員会研修会
- 資料4 平成18年度第2回庄原市道徳教育推進委員会研修会 演習資料

会場: 県庁税務庁舎306会議室

期日: 平成18年9月15日(金)

庄原市教育委員会 教育指導課

指導主事 吉岡 浩美

豊かな心を育てる道徳教育 ～庄原市の道徳教育～

児童生徒の心の問題や問題行動等に対応し、豊かな人間性や社会性を育む教育を推進する必要性が高まる中、道徳教育の一層の充実を図る。

学校教育においては、道徳教育を通して、児童生徒に、善悪の判断や社会のルールなど規範意識を高めさせること、他者を思いやる心や主体的に判断できる力、生命を尊重する態度等を育む。

＜庄原市道徳教育推進委員会＞

庄原市では、全小・中学校の生徒指導主事または道徳担当で道徳教育推進委員会を組織し、「道徳の時間」の授業改善を通して道徳教育を充実させ、児童生徒の豊かな心の育成に取り組む。

平成18年度庄原市道徳教育推進委員会活動計画

月日	会場	内容(案)	備考
5月8日(月) 道徳教育推進委員会 企画会	庄原市総合体育館	・研究組織, テーマ, 年間 計画案作成	
6月2日(金) 第1回道徳教育推進 委員会研修会	庄原市立 総領小学 校	・道徳の時間の充実に向け て(授業研究:総領小) ・広島県の道徳教育の現状 と課題(指導講話)	広島県教育委員会指導 第三課指導主事 広島 県備北教育事務所指導 主事招聘 授業者:総領小
8月17日(木) 第2回道徳教育推進 委員会研修会	庄原市ふ れあいセ ンター	・道徳の時間の充実に向け て(模擬授業) ・演習	広島県備北教育事務 所指導主事招聘 授業者等:美古登小 演習:道徳教育推進リーダー (兼:庄原市初任者研修)
10月27日(金) 庄原市立東小学校研 究公開	庄原市立 東小学校	◎研究主題 全教育活動と響き合う道徳 教育の創造 ～自己肯定感の持てる児童 の育成をめざして～	文部科学省 児童生 徒の心に響く道徳教 育推進事業指定校
11月13日(月) 第3回道徳教育推進 委員会研修会 「道徳教育推進フォー ラム in 庄原」	庄原市立 総領小・ 中学校	・道徳の時間の充実とグル ープ校の発表 (授業研究とポスターセッ ション) ・道徳教育の推進に向けて (指導講話)	広島県教育委員会指導 第三課指導主事 広島 県備北教育事務所指導 主事招聘
2月 道徳教育推進委員会 企画会	未定	・平成18年度まとめ ・平成19年度の計画	

平成18年度第1回庄原市道徳教育推進委員会研修会

1. ねらい

- 市内の小・中学校における「道徳の時間」の指導方法の工夫改善について、研究授業を通して具体的に研修する。

2. 期日 平成18年6月2日（金）13：30～17：00

3. 会場 庄原市立総領小学校

4. 対象者 庄原市内小・中学校道徳教育推進委員（道徳担当または生徒指導主事）

5. 日程・内容

13：30～14：15 公開授業

○第2学年 授業者 津秋 智子 教諭

勇気をもって「なまけんにんじゃーそれは もうひとりのぼく」1-③大阪書籍

○第4学年 授業者 須山 妙子 教諭

友だちの身になって考えよう「なくしたかぎ」2-③光村図書

14：20～15：20 授業について学年別分科会（KJ法による授業分析）

テーマ「ねらいにせまる効果的な中心発問のあり方」

15：30～15：50 開会行事

15：50～16：50 指導講話

「平成18年度広島県の道徳教育の現状と課題について」

○広島県教育委員会指導第三課 山田 幸治 指導主事

16：50～17：00 分科会報告・閉会行事

授業についての分科会（KJ法による授業分析）

テーマ「ねらいにせまる効果的な中心発問のあり方」

白，ピンク，青，緑の用紙を配布する。

下記の各視点で授業を参観し，それぞれの色カードに授業への意見や感想を書く。

なお，今回の授業研究のテーマは「ねらいにせまる効果的な中心発問のあり方」とするので，主には中心発問について，ピンクの色カード1枚につき1項目，意見を書く。

事後の分科会で書いた用紙をグルーピングしながら授業改善について協議します。

学習内容の指導方法（色カード：白）

- ・ 本時のねらいに迫ることができていたか。
- ・ 価値の高まりがあったか
- ・ ねらいに対する資料選択は適切であったか。
- ・ 導入に工夫があったか。
- ・ 心を動かす資料提示であったか。
- ・ 価値の追求ができやすい学習形態の工夫があったか。
- ・ 主体的な課題追求ができるような指導方法がとれたか。
- ・ 児童の心に深く残るような終末の工夫が見られたか。

発問の工夫（色カード：ピンク）

- ・ 児童の興味を呼び起こすような発問であったか。
- ・ 児童の多様な考えが引き出せる発問であったか。
- ・ 中心発問はより高い価値に気づく発問であったか。
- ・ 中心発問を効果的にする基本発問であったか。
- ・ 児童の考えをさらに高めたり，揺さぶったりする発問であったか。

板書の工夫（構造的板書）（色カード：青）

- ・ 劇場的な板書か。
- ・ キーワードを浮き彫りにして話し合いを深める板書か。
- ・ 構造的に構成して話し合いを深める板書か。
- ・ 児童が多様な形で参加する板書か。
- ・ 発言を整理し簡潔にまとめイメージに訴える板書か。（類型的に表す，対比的に表す，順序的に表す）
- ・ 挿し絵や場面絵などで視覚に訴えるような板書か。（人物の表情）
- ・ ペープサートや登場人物の絵等を用い臨場感のある板書か。

伝え合う工夫（色カード：緑）

- ・ 大きな声で相手に伝わるように発言できていたか。
- ・ 豊かなことばで伝え合うことができていたか。
- ・ 考えが深め合える学級集団であったか。
- ・ 児童間で学習したことをまとめることができていたか。
- ・ 意見の根拠が説明できたり，生活をふり返りながら理由を発表したりしていたか。

分科会協議報告

テーマ「ねらいにせまる効果的な中心発問のあり方」

(1) 2学年分科会

- ねらいに迫る発問
 - ・ 切り返しの発問が重要である。
 - ・ 中心発問で役割演技を取り入れるなど、手立てを工夫することで、価値を深める。
- 導入・資料提示の工夫
 - ・ 文章だけで伝わりにくいところを、朗読CDや場面絵を用いて、聴覚や視覚からもイメージ豊かに資料をとらえさせることで、児童の思考を深める。
- 板書
 - ・ キーワードや絵を構造的に板書することで、児童の思考を深める。
 - ・ 価値の高まりを板書で示すことで、児童の思考を深める。

(2) 4学年分科会

- モラルジレンマ資料について
 - ・ 1時間扱いでは無理がある。モラルジレンマは2時間扱いの方がよい。
 - ・ 2つの価値に対して、指導者は中立の立場をとるべきである。
 - ・ 判断した結果より、どういう理由で判断したかを交流させる。
- モラルジレンマ資料のねらいにせまる発問
 - ・ モラルジレンマ資料の場合の中心発問はどうあるべきか。
 - ・ 資料の分析が重要である。
 - ・ 2つの価値からどちらかを選択するのは難しい。
 - ・ 迷ってどうしたかより、どうして迷っているのかという発問も考えられる。

平成18年度第2回庄原市道徳教育推進委員会研修会

1. ねらい

- 市内の小・中学校における「道徳の時間」の指導方法の工夫改善について、模擬授業を通して具体的に研修する。

2. 期日 平成18年8月17日(木) 13:30~17:00

3. 会場 庄原市ふれあいセンター

4. 対象者 庄原市内小・中学校道徳教育推進委員(道徳担当または生徒指導主事)
平成18年度初任者研修対象者(10名)
庄原市内小・中学校教員参加希望者

5. 日程・内容

13:30~13:40 開会行事

13:40~13:55 模擬授業についての説明

- (1) 美古登小学校の研究推進について
- (2) 模擬授業の視点

13:55~14:25 模擬授業

○ 小学校 第2学年

みことのおたから(郷土愛4-4)「町の大いちょうの木」
(『2年生のどうとく』文溪堂)

授業者 美古登小学校 才木 環 教諭

○ 小学校 第4学年

思いやりの心で(思いやり・親切2-2)「おじいさんの顔」
(『生きる力 4』大阪書籍)

授業者 美古登小学校 瀬尾 恵子 教諭

○ 小学校 第5・6学年

みんなのために(勤労・奉仕4-4)「ぼくたちの手で」
(『かがやけみらい 5年』学校図書)

授業者 美古登小学校 引田 秀美 教諭

14:25~15:00 授業について分科会

15:00~15:05 休憩・移動

15:05~16:30 演習

「道徳指導案の作り方ーねらいに応じた発問づくり等ー」

○庄原市道徳教育推進リーダー 総領小学校 津秋 智子 教諭

16:30~16:50 講評・指導講話

○広島県備北教育事務所 教育指導課 一山 栄治 指導主事

16:50~17:00 閉会行事

模擬授業（4年生記録より）

1 授業者より

- 葛藤場面は、人数の偏りがあると判断したため、指導者の方で半数ずつに分け、意見交換させた。
- 席を譲ろうかどうしようか迷う場面も大切にしたいが、本時のねらいから、譲って良かったと思う場面を中心場面とした。
- 感謝の気持ちや相手を思いやる子どもであってほしいという願いから、総合単元的な道徳学習を計画した。

2 中心発問について

- 本時のねらいから、思い切って席を譲る場面を中心場面にしても良かったのではないかな。
- ディベートで盛り上がった場面の、気持ちの変化や判断理由を大切に深めていけば良かったのではないかな。
- ねらいに「勇気」とあるので、「勇気」を出した場面を大切にしたい。
- 話の流れを考えたとき、「譲る」として考えた児童は良いが、「譲らない」として考えた児童にとって価値的にどうであったらう。
- 葛藤場面で「ゆずらない」になった児童は、発達段階上、その判断理由を言うのは難しいのではないかな。
- モラルジレンマ授業と一部をモラル的に扱った授業とは違う。今回の授業はモラル的に扱い共感させることが目的であるため、あまり深く交流することは必要でないのではないかな。むしろ、その後の中心発問をいかに深めるかが大切であらう。

3 基本発問について

- 場面設定を理解させる上で、バス通学の経験を想起させると良いのではないかな。
- 子ども達の経験を想起させたり、子ども達の思考の流れを大切にしたい発問であった。また、短い発問で分かりやすい発問であった。

4 その他

- 分かりやすい板書であった。
- 機能的導入・内容的導入を取り入れられ、子ども達を引きつけるものであった。
- 授業構成においては、子ども達の実態を大切にしたい。
- 総合単元的な道徳学習が生きて働くよう、それぞれの活動と道徳の時間の関係をよく考え構成することが必要である。

模擬授業の観点

- 児童にとって理解しやすい発問であるか
 - 児童の意識の流れに沿った展開になっているか
 - 学習内容が一目でわかる板書となっているか
- 等

『道徳の時間』授業評価表

庄原市立美古登小学校

授業者 () () 学年 () 時間目

評価者 () 平成18年 月 日 記入

評価項目	評価の視点	十分できている	半分以上できている	あまりできていない	ほとんどできていない
準備	1 必要に応じてワークシートや教材・教具を準備している。				
展開	1 効果的な導入をしている。				
	2 資料提示に工夫が見られる。 (範読・語り・劇化・紙芝居・テープ・分割提示等)				
	3 多様な学習活動を取り入れている。(話し合い・書く・役割演技等)				
	4 児童は意欲的に学習活動を行っている。				
	5 効果的な終末になっている。				
板書	1 板書の工夫が見られる。(内容・構造的・色・丁寧な文字)				
発問	1 発問や指示が分かりやすく明確である。				
	2 考えを深めるための手立て(切り返し・揺さぶり・自己の振り返り)をしている。				
	3 中心発問に対する児童の反応が、ねらいを達成するものになっている。				
	4 発問は精選されている。				
対応	1 学ぶ姿勢や学習規律について毅然とした態度で指導している。				
	2 児童の発言の取り上げ方は適切である。				
時間	1 時間配分は適当である。				
	2 授業時間内に終末を終えている。				
態度	1 発達段階に応じた分かりやすい言葉をつかっている。				
感想					

平成18年度第2回庄原市道德教育推進委員会研修会

平成18年8月17日(木)

会場：庄原市ふれあいセンター

演習資料

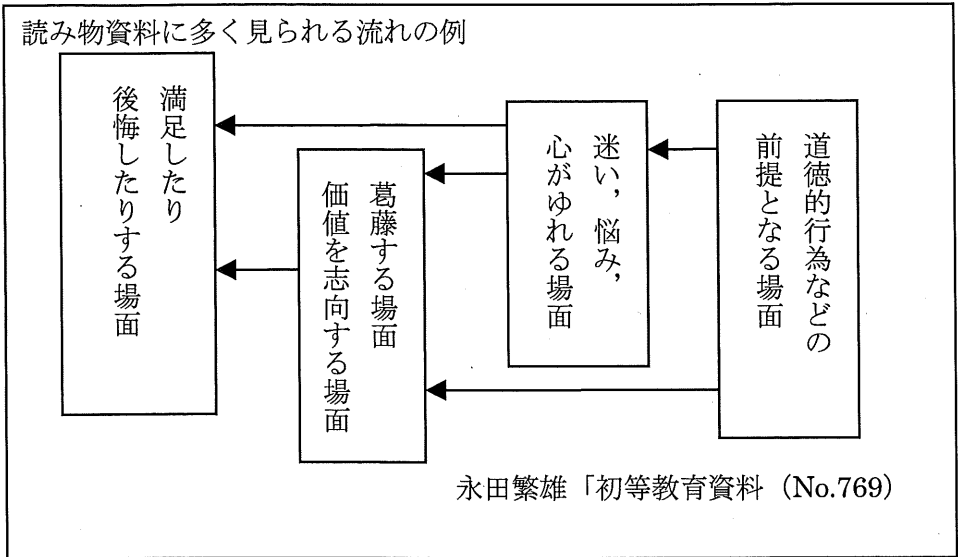
道德指導案の作り方
—ねらいに応じた発問づくり等—

庄原市道德教育推進リーダー

総領小学校 津秋 智子

演習 資料分析して、発問を考えましょう。

1 資料を読み、3～4場面に分けましょう。



2 ねらいを設定する。ねらいとする内容項目 1-④

3 中心場面をとらえ、中心発問を考える。

発 問

児 童 の 意 識

4 中心場面にいたるまでにおさえたい場面、価値の深化を図りたい場面をはっきりさせ、それぞれの発問を考える。

5 展開後段や導入の発問を考える。

演習シート

(1) 主題名 誠実な明るい心で 1-④

(2) ねらい

--

(3) 資料名「心のししゅう」

(4) 指導過程

段階	学 習 活 動	主な発問と児童生徒の心の動き	指導上の留意点 (支援や評価の観点)
導 入			
展 開			
終 末			